

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
shin 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

南知多町議会「日本政府の核兵器禁止条約へ署名・批准を求める意見書の請願」4度不採択

全国自治体の37% 意見書を決議

核兵器禁止条約が発効して2年が過ぎ、締約国は68か国、調印国は92か国に広がっています。日本政府は依然として禁止条約に否定的な態度をとり続けていますが、国民世論の7割は賛成しており、各地の地方議会での意見書の決議が進んでいます。6月16日現在、全国で654自治体議会(1788自治体の37%)がすでに意見書を決議しており、政府への大きなプレッシャーとなっています。

反対意見なしで不採択

6月21日、6月議会の最終日、町民から提出されていた「日本政府の核兵器禁止条約へ署名・批准を求める意見書の請願」(裏面の討論と採択が行われました。内田議員は、紹介議員として賛成討論をし、唯一の戦争被爆国としての責任を果たすよう各議員へ呼びかけました。討論では、残念ながら、内田議員の賛成討論以外は、反対討論もなく、賛成1反対10で否決されました。6月14日に行われた総務建設委員会審議でも、1人の反対意見もないのに否決されました。なぜ反対なのか理由を不すべきです。理由もなく反対では、提出した町民に対しても失礼ではないでしょうか。日本政府の核兵器禁止条約参加への請願は、内田議員が議員になってから今回まで4回提出され、いずれも否決されました。今回の6月議会に出された請願と内田議員の賛成討論から一部紹介します。

…今こそ被爆者の声 ヒロシマ・長崎の声を聴き 世界平和を!… 内田議員の賛成討論から

今こそ被爆者の声、ヒロシマ・長崎の声をしっかりと聴き取ることが必要ではないでしょうか。

広島原爆詩人峠三吉は有名な原爆詩集で78年前の広島原爆の姿を世界に告発しました。峠三吉は1945年(昭和20年)8月6日、爆心地より3kmの広島市翠町で被爆。被爆から8年後、36歳で死去しました。また、詩人の原民喜はらたみきは、爆心地から1・2kmの生家で被爆しました。原民喜は被爆体験をもとに「原爆小景」という連作を書きました。1951年(昭和26年)に死去しました。(裏面参照)

わが国は、原子爆弾の投下による被害を受けた唯一の被爆国であり、広島と長崎に投下された原子爆弾によつて日本人・朝鮮人等20万人以上もの人が亡くなり、今なお多くの被爆者が深刻な健康被害に苦しんでいます。戦争の危機が迫り、核兵器廃絶への気運が盛り上がりつつある中、アメリカ等の核大国に忖度することなく、わが国は世界の核兵器廃絶に向けて先頭に立ち行動する責務があります。

1966年、広島で開催されたG7では内外の多くの人々が核兵器廃絶に向けた前向きなメッセージを期待

しましたが、この期待に裏向きから背くものがありました。

核兵器による威嚇によつて他国を抑えようとする核抑止力論を公然と唱える一方、世界の92か国が署名し、すでに国際法としての地位を確立している核兵器禁止条約を無視する姿勢をとったこと、失望と批判が広がっています。

被爆者のサロー節子さんは、「自国の核兵器は肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されないと語りましたが、G7広島サミットの本質を言うに当たってもG7です。「核抑止力論の根本的な見直し」日本をはじめとして核兵器禁止条約に正面から向き合う姿勢が、G7諸国に強く求められています。

条約が発効して約一年半が経過しますが、ウクライナ危機の中で、核兵器による威嚇を経験し、「核兵器使用の危機にさらされている」今だからこそ、この条約の意義が非常に大きくなっています。

なぜなら、私たち直面でいる今だからこそある危機を明確に禁止する国際条約は、核兵器禁止条約だけだからです。危機を実感している今、核兵器使用や核兵器による威嚇を防ぐには、条約に賛成しない国も共有している行動原則です。これを普遍化していかなくては核兵器を使わせません、私たちの最終目標である核兵器廃絶へと導くイデオロギイがもたらすものではないでしょうか。

アメリカに従属する日本と、被爆者に責任をもち、独立して判断する日本として、核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の請願は極めてまっとうなものです。すべて良識ある南知多町議会議員の方々の賛同を強く願っています。

皆さん!安らかに眠っていたら過ちは繰返してしまぬから!の意思を引き継ぎ、世界平和に貢献しようではありませんか。



〈川柳コーナー〉

南知多町議会は「日本政府の核兵器禁止条約へ署名・批准を求める意見書の請願」否決。全国ではもう37%の自治体が採択。世界で唯一の戦争被爆国の日本こそ核兵器廃絶の世界の先頭に立ちべき。

誓い直す!過ちは繰返してませぬ